

検討対象物質の概要

物質名	主な用途	生産・輸入量	管理濃度	産衛学会、ACGIH	その他
1, 2-ジクロロプロパン	金属用洗浄剤、他の製剤の原料・中間体および中間体含有物 (平成24年度職場における化学物質のリスク評価推進事業(有害性評価書作成等)実施結果報告書、2013年)	生産・輸入量: 1,806トン (2010年度)	未設定	○ACGIH: 10ppm(2006年)	IARC(国際がん研究機関): 3(ヒトに対する発癌性が分類できない、1999年)
N, N-ジメチルホルムアミド	人工皮革またはウレタン系合成皮革、スパンデックス繊維、分析化学用(溶媒、ホルミル化試薬)、有機合成用の溶媒(染料および中間体の合成用、農薬、医薬品)、各種ポリマーの溶媒(特にアクリロニトリル型重合体の溶剤)、触媒(セルロースのアセチル化)、ガス吸収剤(ブタジエン、アセチレン、エチレン、プロピレン、亜硫酸、硫化水素、青酸、三フッ化ホウ素、無水硫酸など) (2013年版16313の化学商品、化学工業日報社)	排出・移動量: 9,839 t (2010年度)	10ppm	○日本産業衛生学会: 許容濃度: 10ppm(1990年) ○ACGIH: 10 ppm(1986年)	IARC: 3(ヒトに対する発癌性が分類できない、1999年)
ニッケル化合物	スルファミン酸ニッケル: 電気メッキ、電鍍 硫酸ニッケル: ニッケルメッキ、ニッケル触媒一般、媒染剤、亜鉛および真ちゅうの黒色着色剤、ペンキおよびワニス、窯業用顔料、触媒一般、アルミ着色二次電池 炭酸ニッケル: 触媒、窯業用顔料、うわ薬、ニッケル塩の原料、電気メッキ 硝酸ニッケル: 各種触媒原料、金属表面処理剤、メッキ工業用原料、電池 塩化ニッケル: 電気メッキ、試薬 (2013年版16313の化学商品、化学工業日報社)	排出・移動量: 2,975 t (2010年度)	0.1 mg/m ³ (ニッケル化合物、粉状の物、ニッケルとして)	○日本産業衛生学会 水溶性0.01mg/m ³ 不溶性0.1mg/m ³ (2011年) ○ACGIH 可溶性化合物0.1mg/m ³ 不溶性化合物0.2mg/m ³ 亜流化ニッケル0.1mg/m ³ (2001年、ニッケルとして)	IARC: 1(ヒトに対する発癌性が認められる、2012年)
ベリリウム及びその化合物	宇宙・エレクトロニクス・機械工業のベリリウム-銅その他の合金類として。宇宙・兵器・原子力工業で遊離金属として。エレクトロニクス及びマイクロエレクトロニクスでベリリウム酸化物として。(国際化学物質安全性計画 環境保健クライテリア106(1990年発行)(国立医薬品食品衛生研究所安全情報部による抄訳))	ベリリウム鉱石の年間生産量: 約10,000トン(1980から1984年、ベリリウム400トンに相当)	0.001 mg/m ³ (ベリリウムとして)	○日本産業衛生学会: 許容濃度: 0.002mg/m ³ (1963年) ○ACGIH: インハラブル粒子として0.00005mg/m ³ (2009年)	IARC: 1(ヒトに対する発癌性が認められる、2012年)